

# 結果ダイジェスト

## 1) 1週間の平均生活時間

授業に関する学習をする時間は、1年生の47.6%、4年生の59.7%が1時間未満

社会科学分野の学生の1週間の平均生活時間をみると、1年生では、半数近く（45.3%）が授業に16時間以上（「16-20時間くらい」～「26時間以上」の合計、以下同様に算出）出席している。しかしながら、授業外の学習時間は少なく、「授業に関する学習」「授業とは関係のない学習」のいずれにおいても「1時間未満」が最も多い（前者47.6%、後者59.8%）。4年生では、授業への出席時間は「1-5時間」が最も多く（54.7%）、「授業に関する学習」の時間も「1時間未満」との回答が59.7%と1年生よりも多いが、「授業とは関係のない学習」の「1時間未満」の比率は48.9%と1年生より少なく、学習時間が増えている。一方、課外活動は、「部・サークル活動」を週1時間以上している学生が1年生で59.7%、4年生で41.0%、「アルバイト」を週6時間以上している学生が1年生で48.2%、4年生で61.9%である。

Q. 学期中における1週間の平均的な生活時間をお聞きます。

### ●1年生

		(%)							
		1時間未満	1-5時間くらい	6-10時間くらい	11-15時間くらい	16-20時間くらい	21-25時間くらい	26時間以上	無回答
授業への出席		1.6	15.4	12.9	23.6	<u>25.9</u>	11.2	8.2	1.1
授業外の学習	授業に関する学習	<u>47.6</u>	41.9	6.3	1.8	0.8	0.3	0.0	1.3
	授業とは関係のない学習	<u>59.8</u>	26.8	6.4	2.6	1.3	0.3	0.6	2.1
読書(マンガ・一般雑誌を除く)		<u>51.9</u>	30.5	9.6	4.0	1.3	0.5	0.9	1.2
課外活動	部・サークル活動	<u>38.5</u>	27.9	14.8	7.9	3.3	2.1	3.7	1.8
	アルバイト	<u>38.7</u>	12.6	15.2	15.0	10.9	4.1	3.0	0.6

### ●4年生

		(%)							
		1時間未満	1-5時間くらい	6-10時間くらい	11-15時間くらい	16-20時間くらい	21-25時間くらい	26時間以上	無回答
授業への出席		6.8	<u>54.7</u>	20.4	9.3	5.0	1.8	1.5	0.5
授業外の学習	授業に関する学習	<u>59.7</u>	31.5	5.3	1.4	0.9	0.2	0.5	0.6
	授業とは関係のない学習	<u>48.9</u>	29.9	12.6	3.5	1.2	0.3	1.5	2.0
読書(マンガ・一般雑誌を除く)		<u>41.2</u>	37.1	12.8	4.4	1.5	0.6	1.4	1.1
課外活動	部・サークル活動	<u>57.0</u>	20.5	11.1	3.2	2.1	1.7	2.4	2.0
	アルバイト	<u>25.8</u>	10.9	15.2	11.7	16.3	9.9	8.8	1.4

注1: サンプル数は1年生982人、4年生658人（両学年とも留学生は除く）。

注2: 下線は項目別の最大値を示す。

## 2) 授業の経験

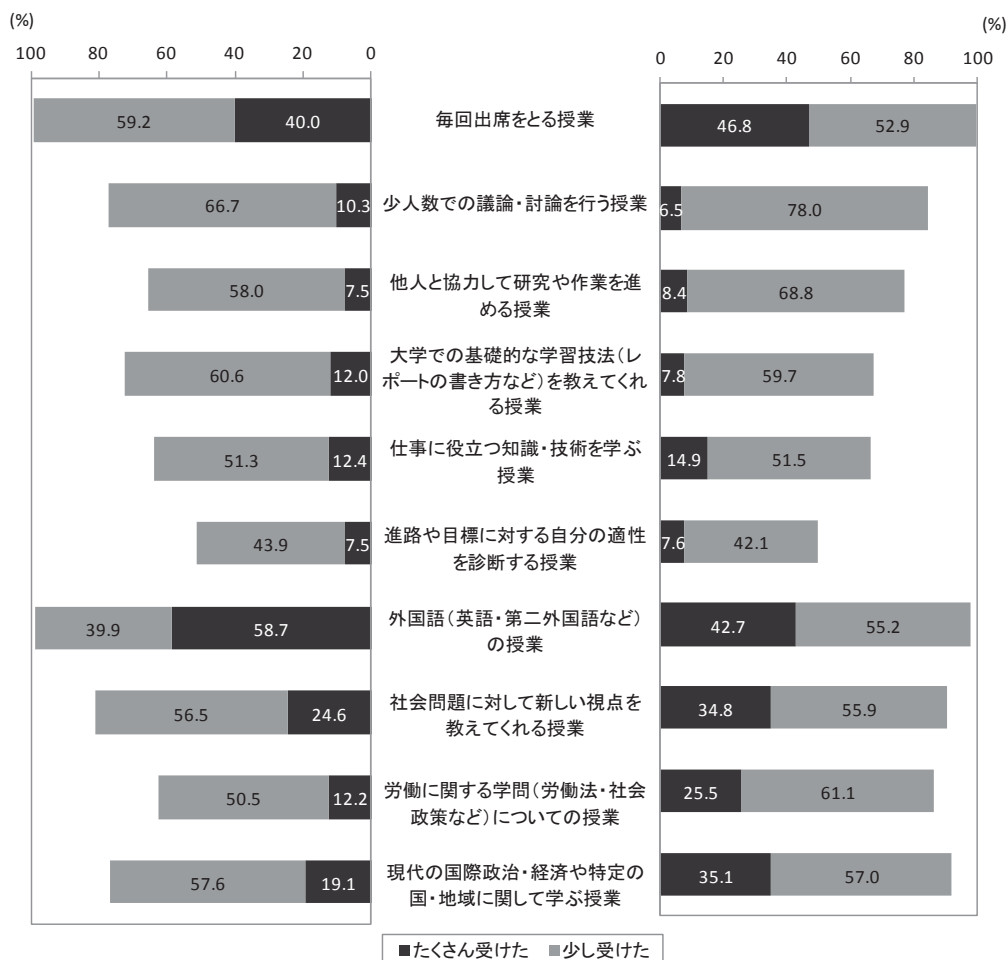
「毎回出席をとる授業」を「たくさん受けた」と回答した4年生が半数近く

大学での授業の形式・内容別に、受講経験についてたずねた結果、「毎回出席をとる授業」を1年生の40.0%、4年生の46.8%が「たくさん受けた」と回答している。また、参加型の授業についてみると、「少人数での議論・討論を行う授業」は4年生で84.5%、1年生でも77.0%に受講経験があり（「たくさん」と「少し受けた」の合計、以下同）、「他人と協力して研究や作業を進める授業」についても4年生で77.2%、1年生も65.5%が経験している。だが、「たくさん受けた」との回答比率はどちらの授業も学年によらず1割前後となっている。

Q. あなたが大学で実際に受けてきた授業の中で、次のような授業はどれくらいありましたか。

### ●1年生

### ●4年生



注1：サンプル数は1年生982人、4年生658人（両学年とも留学生は除く）。

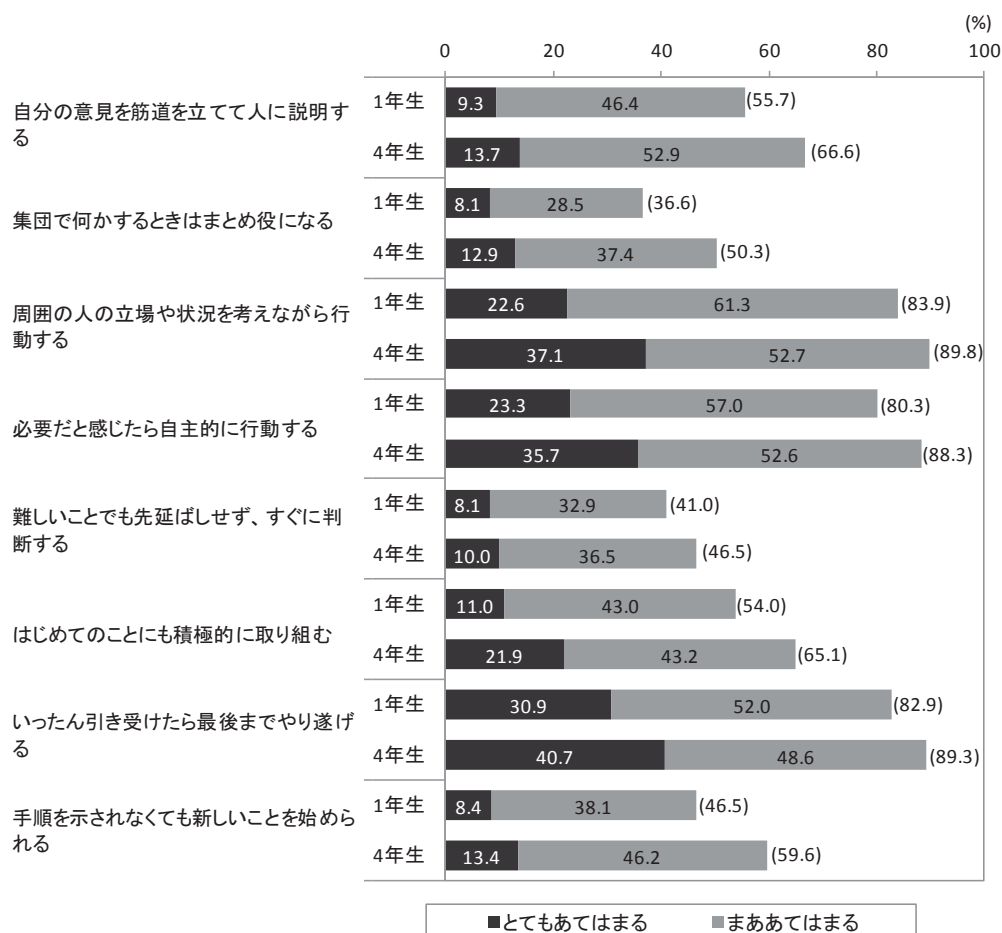
注2：この設問は、「たくさん受けた」「少し受けた」「受けたことがない」の3件法でたずねた。

### 3) 社会で求められる力

状況の把握、主体性、責任感は8割以上の学生が肯定的な自己評価をしている

産業界から求められている基礎的な力について、大学生は普段どの程度実践できていると考えているのだろうか。「周囲の人の立場や状況を考えながら行動する」「必要だと感じたら自主的に行動する」「いったん引き受けたら最後までやり遂げる」の3項目で、「あてはまる」(「とても」と「まああてはまる」の合計)の回答割合が高く、いずれも1年生で8割程度、4年生で9割程度にのぼっている。また、1年生と4年生を比べると、全ての項目について4年生の方が肯定率が高くなっているが、「集団で何かするときにはまとめ役になる」「手順を示されなくても新しいことを始められる」の2項目で、学年別の差異が大きい。

Q. あなたには、次のことがどれくらいあてはまりますか。



注1: サンプル数は1年生982人、4年生658人(両学年とも留学生は除く)。

注2: ( )内は「とてもあてはまる」と「まああてはまる」の合計。

注3: この設問は、「とてもあてはまる」「まああてはまる」「あまりあてはまらない」「まったくあてはまらない」の4件法でたずねた。

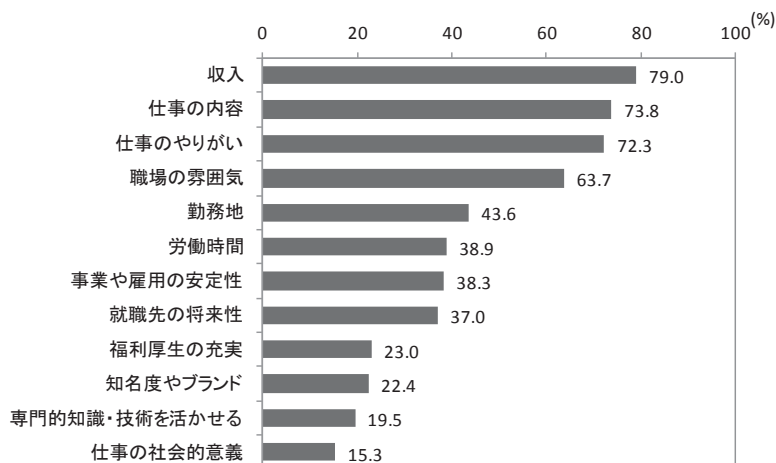
## 4) 仕事を選択する上で重視すること

### 1年生は「収入」、4年生は「仕事の内容」を重視

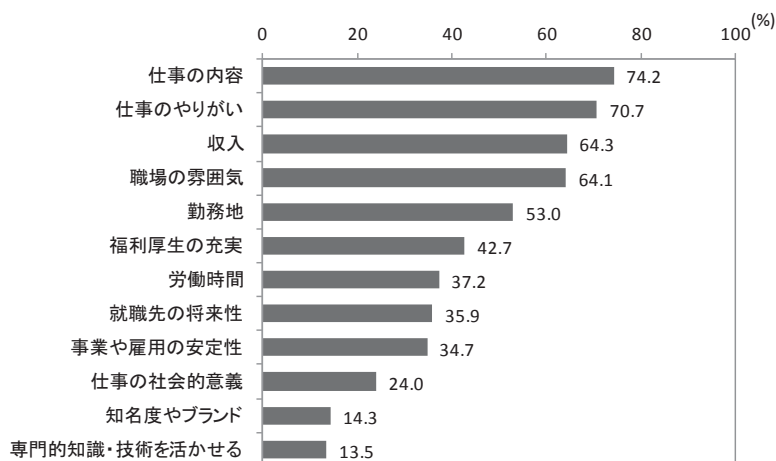
大学生が仕事を選ぶ上で重視するのは、1年生は「収入」(79.0%)、4年生では「仕事の内容」(74.2%)が最も高い。1年生と4年生を比較すると、「福利厚生充実」で最も違いがみられ、1年生23.0%、4年生42.7%と4年生の方が約20ポイント高い。次に違いが大きいのが「収入」で、こちらは逆に1年生の79.0%に対し、4年生では64.3%と1年生の方が約15ポイント高くなっている。これらは、就職活動の経験によって意識が変化しやすい項目であることが推測される。また、4年生の回答で、最も重視度の低いものに注目すると「専門的知識・技術を活かせる」が13.5%であり、社会科学分野の学生は最終的にあまり専門分野にこだわらない仕事選択をしている状況がうかがえる。

### Q. あなたは仕事を選ぶ上で何を重視しますか。

#### ●1年生



#### ●4年生



注1: サンプル数は1年生982人、4年生658人(両学年とも留学生は除く)。

注2: 複数回答。項目のうち「仕事をするつもりがない」は省略した。

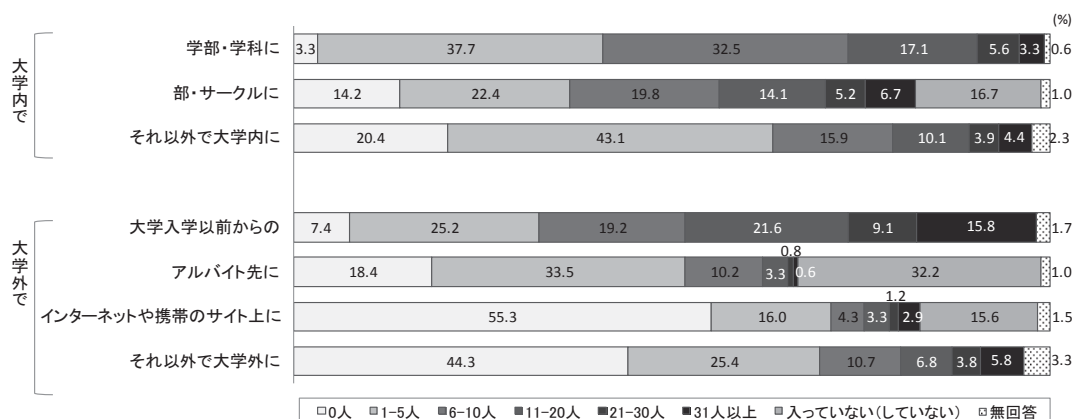
## 5) 友人の数

学部・学科にいる親しい友だちの数は「1~5人」が4~5割程度と最も多い

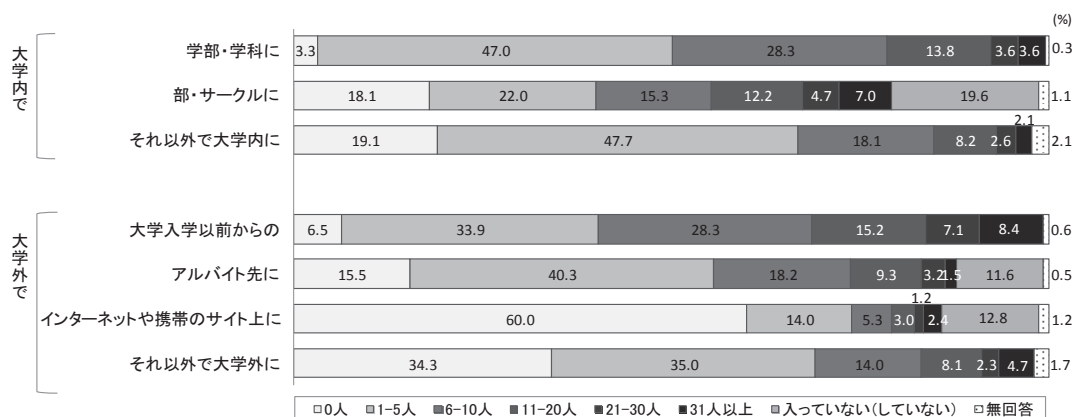
大学内外の活動場面別に親しい友だちの数をたずねたところ、学部・学科にいる親しい友だちの数は、「1~5人」が最も多く、1年生で37.7%、4年生で47.0%である。次に多いのが「6~10人」で、1年生が32.5%、4年生で28.3%であり、両者を足すと「1-10人」の範囲でいずれの学年も7割を超える。また、インターネットや携帯のサイト上に友だちが1人以上いると答えた割合（「1~5人」~「31人以上」の合計）は、1年生で27.7%、4年生で25.9%と4分の1程度であった。

Q. あなたには、親しい友だちがどれくらいいますか。

### ●1年生



### ●4年生



注：サンプル数は1年生982人、4年生658人（両学年とも留学生は除く）。